

平成28年度第3回池田市行財政改革推進委員会 議事要旨

【と き】 平成28年9月9日（金） 午前10時00分～11時30分

【ところ】 池田市役所 3階 議会会議室

【出席者】

■委員：佐々木会長、村瀬副会長、蒲生委員、牛嶋委員、榎本委員、中西委員

■事務局：山本市長公室長、松浦総合政策部長、東市長公室次長兼人事課長、
森本財政課長、財政課岩下主幹、財政課石川主任主事、財政課西田主事

【傍聴者】 0名

【内 容】

1) 開会

＝事務局から配布資料の確認＝

＝佐々木会長から本日の進行について説明＝

2) 議事

池田市行財政改革推進プランⅡ平成27年度最終報告（案）について

事務局：（池田市行財政改革推進プランⅡ平成27年度最終報告（案）について説明）

委員：財政調整基金残高の目標が平成30年度末で10億円(P1)となっているが、クリーンセンターと給食センターの取崩予定額はどれほどか。

事務局：財政調整基金については、クリーンセンターや給食センターに直接充てるものではなく、全体の収支不足に対して取崩すものであるが、クリーンセンターについては、プランⅡ策定当時、事業費ベースで数億円程度を見込んでいた。給食センターについては、事業手法が未定なため、事業費についても未定であった。

委員：平成30年度に10億円まで減るペースであれば、財政調整基金はすぐ底を尽きるのではないか。

事務局：現行のペースであればご指摘のとおりである。しかし、クリーンセンターについては、平成29年度から3年間に集中的に費用が必要になり、平成32年度以降は負担がなくなるものの、経常的な部分については、現在においても基金取崩が発生している状況であるため、次期プランの改革期間となる平成31年度以降においても、継続的な取組が必要となる。

事務局：プランⅡの7ページに、平成30年度末時点での財政調整基金残高を10億円以上と目標設定した考え方を記載している。プラン策定時の平成26年度末時点では、基金残高が33億円となる見込みであった。そこからクリーンセンター等の大規模改修を行うことを見込んでおり、平成30年度末時点における基金残高について、標準財政規模の5%程度に相当する10億円を目標数値として設定した。

平成27年度における池田市行財政改革推進プランⅡの取組状況に関する意見書（案）(P27)につ

いて

委員：平成27年度の「最終報告」について、事務局案をたたき台として議論をし、最終報告案を確定する。

事務局：（平成27年度における池田市行財政改革推進プランⅡの取組状況に関する意見書（案）について説明）

委員：2「今後の行財政改革推進委員会の方向に関する意見」について、委員会が委員会に対して言っているように見えるが、おかしくないだろうか。

委員：2（1）については、昨年度協議したところで問題がないと認識している。2（2）については、国が制度や政策について様々な通知等を出しており、本委員会はそれを勉強して本委員会の議論に活かし、市の政策等へ反映すべきであると考えがいかがか。私が知っているものについては、私が説明してもよい。

委員：表現の仕方に工夫がいる。平成26年度の答申において、本委員会の今後のあり方について、「～が必要であると考え」としており「考える」という表記が良いのではないか。

委員：「との意見があった」は消してもよいかと思う。委員会として意見がまとまってないように見えてしまう。

委員：国が様々な通知等を出しており、それを勉強することで、本委員会の議論に活かすことができるのではないか。

委員：1（2）の「資料の作成について」の記載がおおまかかと思う。目標と実績について、毎年度の確認をしており、それはそれで必要だが、複数年度での目標があったほうが良いのではないか、という意見が前回会議であったかと思う。とりわけ「目標の期間を通じて」という文言を入れたいという想いがあるのか。

委員：他により良いタイトルがあればご提案いただきたい。

委員：1（2）の「今後は、」の後部について、目標の設定について、何故その数値になったのか目標の妥当性が不明瞭である。可能なものについては、目標を設定した根拠を記載できないか。

委員：目標をどう設定したのか、根拠も交えて示すことでよりわかりやすいものとなる。単年度ではなく複数年度の目標という理解で良いか。

委員：紙面スペースの都合もあるが、可能であれば書いた方が分かり良いだろう。

委員：例えば、「す・KIDS いけだ(P7)」の登録者数やアクセス数などは、惜しくも達成できなかったが、2歳未満の家庭の何%か、などの目標の根拠となる数値等があれば達成できなかった取組についても努力した姿がよりよくわかるようになる。

委員：欄外に注記として書くことで、シンプルでわかりやすいものになると思う。「意見書」の見出しについて、1（2）の「資料の作成について」は「目標の表記の仕方について」、「改革期間における」を「改革期間全体を通しての目標について、可能なものは数値目標とその根拠もあわせて示す等」に修正してよろしいか。また、事務局は、可能なものについて欄外に目標を設定した根拠をあきらかにすることを要望する。事務局は以上を踏まえた「意見書」となるよう修正したうえで委員に配布していただき、委員会は、それを確認した後、正式に「意見書」として池田市に提出する。

事務局が「意見書」を修正している間に、市の担当者から平成27年度の人件費総額が

目標としている60億を超えた(P4)ことについての詳細の説明をしていただく。

事務局：(人件費について説明)

委員：平成27年度と比べて減額となる要因は何か。

事務局：給与削減で1億円の減を見込んでいる。しかし、今年度においても人事院勧告の内容如何によっては、楽観視はできない。

委員：では、事務局に「意見書」の最終案を配布していただく。変更点のみ読み上げていただく。

事務局：(修正点について説明)

委員：これでよろしいか。

委員一同：(異議なし)

委員：それではこれをもって今年度の「意見書」とする。

事務局：2の(1)と(2)について、末尾の表記に差異があるがよろしいか。

委員：それでよい。前段については、効果額を前年度に言及しており、今から新たに考えるものではないためである。

=佐々木会長から松浦総合政策部長に「平成27年度における池田市行財政改革推進プランⅡの取組状況に関する意見書」を手交=

3) 事務連絡

事務局から委員会の今後の予定について説明

4) 閉会